

つれづれなるまゝに 第13号

令和元年9月27日（金）発行



校長 深谷 浩一

3年5組，総合2連覇！ スポーツ科学コース1～3位独占！ ～クラスマッチ，20日に開催～

9月20日（金）に恒例のクラスマッチが開催されました。当日私は午後から出張で出かけてしまい皆さんの競技を見ることが出来ませんでした。担任の先生はじめ、先生方から試合結果等について詳しい報告を受けていますので、その感想などを記したいと思います。

まず、総合優勝の3年5組のみなさん、おめでとうございます。当日の朝になってもユニホームが到着していないというハプニングにもめげず、2連覇を達成したとのこと、本当に素晴らしいことです。種目ごとでは、男子バレーで高岩英吾（えいご）君，熊谷洸希（こうき）君がアタッカーとして，滑川歩武（あゆむ）君がムードメーカーとして活躍しての優勝。担任の岩科先生は、「決勝でも緊張したりイライラしたりせず、『いつも通り』明るく楽しくムードを盛り上げてくれた。」と絶賛しています。



また、3年5組は、女子バスケットでも優勝。倉田夏鈴（かりん）さん，岡本彩乃（あやの）さんが司令塔として活躍し，磯畑麗美（いそはた れみ）さんが決勝ゴールを決めました。岩科先生は、「去年2位での悔しさがバネになったのではないかと話しています。試合に出ていない人の声かけが力になった」と話しています。リレーでは、脚がつつも諦めず走った古谷 耶真斗（ふるや やまと）君や女子のエース磯畑麗美（いそはた れみ）さん，アンカーの熊谷洸希（くまがい こうき）君などの活躍で2位に入り，見事に総合優勝を果たしました。

総合2位は1年5組。須藤創大（そうた）君などの活躍で男子バスケットで優勝。女子バレーでも富田美来（みく）さんなどの活躍で優勝。さらに、リレーでも優勝して3種目制覇。総合優勝の3年5組にわずか5点差に迫る緊迫した熱戦を繰り広げたのです。そのリレーでは、予選、決勝ともバトンミスがあって、一時は大きく後退したものの、一人ひとりが少しずつ差を縮め、最後にはアンカーの平塚悠希（ゆうき）君が逆転して優勝したのです。担任の根反先生は、「それぞれが自



分の役割を理解し、お互いをフォローし合っていた」として、大和田遥希（はるき）君、小林未於（こばやし みお）さん、小林 莉於（りお）さんなど出場したメンバー全員の名を挙げて健闘を讃えていました。

総合3位もスポーツ科学コースの2年5組。優勝した種目はなかったものの、男子バレーで酒井洸誠（さかい こうせい）君などの活躍で準優勝。担任の柴沼先生は、「常にクラスを中心として周りに声をかけ、苦しい状況の時に

タイムをかけてチームを盛り上げた。」と評しています。

「総合3位入賞」を果たした勝因として、柴沼先生は、「スポーツ科学コースとしてのプライド」を挙げています。そして、「昨年はスポーツ科学コースでありながら、総合7位に終わり、それが悔しかったのだと思います。」と語り、さらに来年の総合優勝を誓っていました。



種目ごとの成績では、総合3位以外のクラスでは、バスケットボール男子で2年2組が準優勝しました。1試合目、残り数秒で逆転のスリーポイントシュートを決めた松塚直記（まつつか な



おき）君、2試合目、残り数秒で逆転のスリーポイントシュートを決めた薄 駿斗（すすき はやと）君、冷静に周りを見て選手の動きを操っていた司令塔、大槻 廉（おおつき れん）君はじめ、団結の勝利でした。担任の埴先生は、「あきらめない、なんとかしたいという気持ちにみんながなっていたんだと思います。」と話していました。

サッカー男子では、3年4組が優勝しました。担任の飯田先生は、活躍した選手を問われると、「メンバー全員です！」と答え、勝因を問われると、「サッカー経験者も多かったのですが、何よりの勝因はチームワークだと思います。」と答えてくれました。

準優勝したのは、3年3組でした。担任の石川先生も、活躍した選手には、川原場遼太（かわらば りょうた）君、杉田兆信（すぎた もとのぶ）君など、出場した全員の選手名を挙げてくれました。そして、勝因としては、「決勝トーナメント1回戦の2年5組戦で、PK戦で集中を切らさず、勝ちきったこと」を挙げてくれました。



女子の種目では、バスケットボールで1年1組が準優勝となりました。長島璃音（ながしま りお）さん、井野桜橘（いの さみか）さん、仲谷芽生（なかや めい）さんの絶妙なパス回しがチームを準優勝に導いたのではないかと、担任の大崎先生は考えています。



バレー女子で準優勝したのは、1年2組でした。バレー経験者が多いチームでしたが、特に松本理紗（まつもと りさ）さん、古谷田夢唯（こやた ゆい）さんの活躍にはめざましいものがありました。両クラスとも1年生の普通科クラスでありながら、あっぱれな結果です。来年が楽しみです。



ドッジボールの優勝は2年4組で、内野の中心で活躍した畑岡利安（はたおか りあん）さん、外野専門でがんばった深作真琴（ふかさくまこと）さん、チームのまとめ役でホームルーム代表でもある植木みらいさんのリーダーシップが大きかったものと思われます。担任の塚本先生は、「クラスでの楽しさがチームワークの良さにつながり、そのまま優勝となったのではないのでしょうか。」と話していました。

準優勝した2年3組では、高橋さくらさん、黒澤かおるさん、額賀里佳（ぬかが さとか）さんの活躍が目覚ましかつたと担任の佐藤先生は話していました。佐藤先生に勝因を尋ねると、「スポ科が出場していないこと」と「2年4組と練習して鍛えたこと」を挙げてくれました。



最後に、クラスマッチでの出来事でひとつ皆さんにお話しすることがあります。それは、優勝した3年5組の生徒がクラスマッチ終了後に体育館内のゴミ拾いを行ってくれたことです。優勝したことはもちろん嬉しかったのですが、それ以上にこういう行いが出来ることは素晴らしいことです。3年5組の生徒の皆さんの行動を誇りに思います。

以上で、クラスマッチの講評を終わります。

